

# 医療的ケアが必要な児童等の地域生活支援に関するニーズ調査（20歳以上） 【結果報告書】

平成29年2月24日  
鳥取県福祉保健部  
子育て王国推進局子育て応援課  
子ども発達支援課

## 【アンケート結果の概要】

- 対象者：難病や慢性的な疾病を抱えておられる20歳代から30歳代までの者で、ご本人かご家族が患者会や家族会（またはそれに類似したネットワーク）に参加している者
- 調査人数：50人 回収数15人（回収率30.0%）
- 回答者：本人（60.0%）、代理（40.0%）
- 性別：男性（46.7%）、女性（53.3%）
- 年齢：22～25歳（33.3%）、26～30歳（46.7%）、31～35歳（20.0%、）
- 調査期間：平成28年10月27日（木）～平成28年11月16日（水）
- 調査方法：郵送、配布

## 【結果のまとめ】

<b>1.あなたご自身のことについて</b>
○家族等と同居しているが9割弱、「ひとり暮らし」が1割強となっている。
○現在、制度を「利用している」が8割あり、回答者全員が「身体障害者手帳」を利用し、「療育手帳」が2割強となっている。
<b>2.あなたの普段の様子、療養の状況、介助の有無などについて</b>
○普段の様子（移動、運動の程度）は、「自力で歩くことができなく介助等が必要」が1割弱となっている。また、「座位(座ったときの姿勢)が保持できない」は1割強となっている。
○「食事、衣服の着脱、入浴、排泄、移動」などの介助が必要が1割強となっている。
○医療的ケアを「必要とする」が3割弱あり、必要なケアの内容は「人口呼吸器」「体位変換」等が上位となっている。
○日中の主な生活の場は、「自宅」が6割強、「職場」が4割となっている。
<b>3.あなたの看護の状況について</b>
○日中、自宅や病院での看護の要否について、「必要」は4割弱となっている。看護者は回答者全員が「母」、次いで「父」が半数となっている。
○看護者について、看護の「代わりにお願いできる人がいない」が7割強となっている。
○障害福祉サービス等の利用について「利用することがある」「利用していない」が共に半数となっている。

#### 4. あなたの就労の状況について

○就労の有無について、現在、「仕事をしている」が半数以上となっている。その仕事の紹介元については「求人案内を見て自分で探した」が4割弱となっている。

○仕事の内容は、「民間企業での仕事（自営業を含む）」が半数となっている。

○仕事上で困っていることが「ある」が2割強、困りごとについて、回答者全員が「障がいや慢性的な疾病について理解や協力をしてもらえない」と回答している。

○今後の就労意向は、「今後も今の職場で仕事を続けたい」、「条件が合えば違う職場に変わりたい」が4割弱となっている。

○過去に仕事をしていたことが「ない」が4割弱、現在、仕事をしていない理由として「障がいや慢性的な疾病のため」が8割強となっている。また、今後の就労希望については「一般企業の常勤従業員や公務員として働きたい」「パートやアルバイトとして働きたい」が3割弱となっている。

○仕事に対する支援は「必要」が9割強あり、必要な支援は「一人ひとりの障がい等の状況にあった仕事の紹介」「企業や雇用主の障がい等に対する理解の促進」が7割強となっている。

#### 5. あなたの通院・入院について

○医療機関への通院回数は、「月に1回強」が半数以上となっている。通院している医療機関は、「県内の総合病院」が半数以上となっている。

○通院の際、付き添いが「いる」が7割弱あり、付き添う人は9割が「母」と答えている。

○入院する際や病室への付き添いが「いる」が9割弱あり、付き添う人は8割強が「母」と答えている。

#### 6. あなたのサービス・支援の利用状況について

○療養、看護等でサービスを「利用している」が3割弱あり、「相談支援（計画相談を含む）」の利用が7割強となっている。

○療養、看護等のサービス利用で「困ることがある」が7割強あり、「どのサービスが利用できるかわからない」「サービス利用にかかる費用の負担が大きい」などの意見が多い。

○療養、看護等について相談したことが「ある」が9割強あり、「医療機関の医師・看護師」「家族・親族」に相談している。

○療養、看護等に関する相談機関（窓口）で困ること（困ったこと）が「ある」が4割強あり、「どこに相談してよいかわからない（わからなかった）」「継続的に関わってくれない（関わってくれる人がいない）」という意見が多い。

#### 7. 社会との関わりについて

○暮らしの問題や保健・医療・福祉に関する情報の取得方法は「インターネット（鳥取県のホームページやモバイルサイトを含む）」「テレビ」「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」等が多い。

○現在生活の中で「困っていることがある」が7割弱あり、「生活費などの経済的なこと」「健康や体調管理のこと」が多い。

○悩みや問題の解決のために必要なことが「ある」が7割強あり、「専門的知識を持ち、的確なアドバイスができる人材」が半数以上となっている。

○障がい等を持っていることが原因で受けた対応は「ある」が6割あり、「職場、学校、地域の人に、嫌がらせを受けた」が4割強となっている。

## 8. 災害発生時等の対応について

○災害発生時に備えて、避難方法や避難場所について「考えたことがある（考えている）」が約半数となっている。

○避難等の際、移動、看護について協力を「必要」とするが4割あるが、「協力をしてもらいたい適切な者（団体など）がない」と答えている人が半数となっている。

○行政や地域からの支援を半数以上が「必要」と答えており、「医療についての相談窓口があること」「医療機関の受け入れ体制があること」等を希望している。

○災害発生時や避難生活を行うため、個人情報は、「必要な支援を受けるために積極的に提供した方がよい」と約半数が答えている。

○災害発生時の備えは、約半数が「準備している」と答えている。具体的には、「家族や知人の連絡先の把握」「医薬品や症状等の情報の記録」「広域避難場所を知っている」等と答えている。

## 9. 将来に向けた生活について

○将来について不安が「ある」と9割弱が答えている。不安な内容は、「病状の進行」「健康や体力が維持できるか」等の病状に関する点、また「十分な収入があるか」「一緒に暮らす配偶者や家族がいるか」等の将来の生活に関する不安の意見が多い。

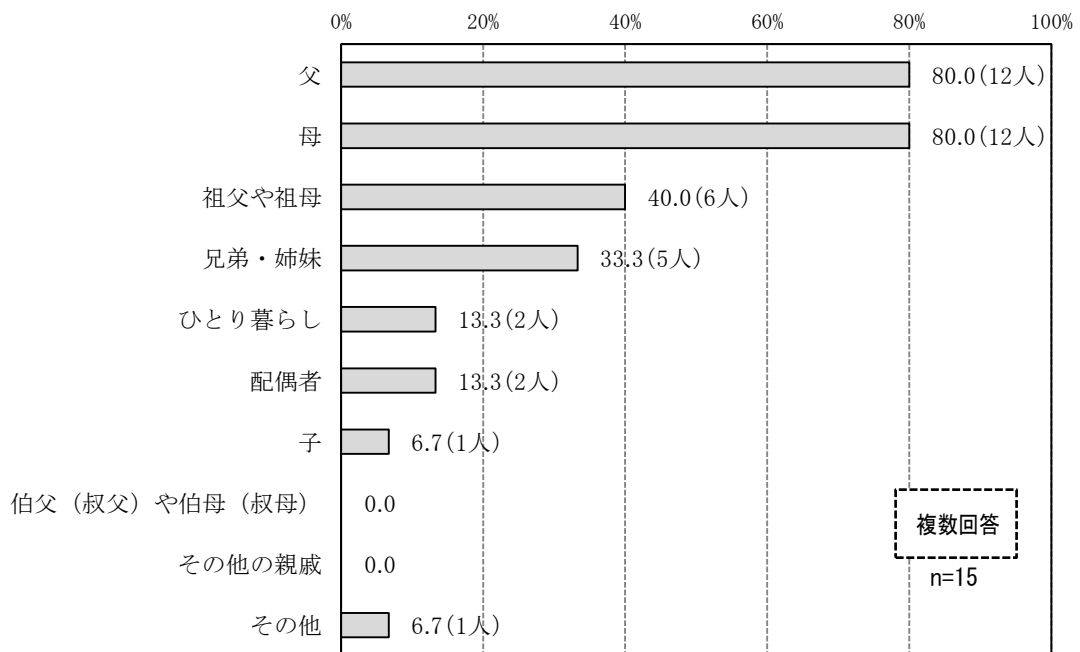
○障がい等がある人が地域の中で安心して生活していくためには、「必要なとき十分な介助や支援が受けられること」「障がい等がある人もない人も共に安心して暮らせる社会の実現」等が必要だと答えている。

# 1.あなたご自身のことについて

- ・家族等と同居しているが9割弱、「ひとり暮らし」が1割強となっている。
- ・現在、制度を「利用している」が8割あり、回答者全員が「身体障害者手帳」を利用し、「療育手帳」が2割強となっている。

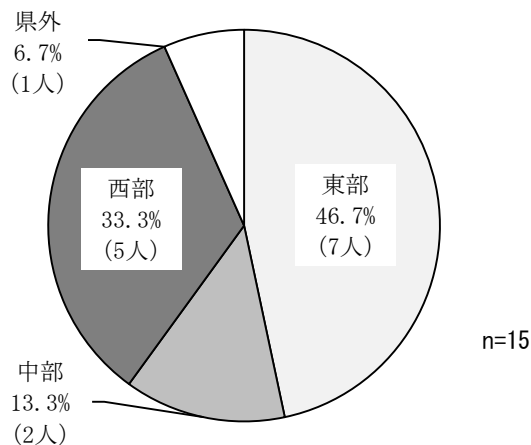
## (1) 同居している家族 (問4)

～同居が9割強、「ひとり暮らし」が1割強～



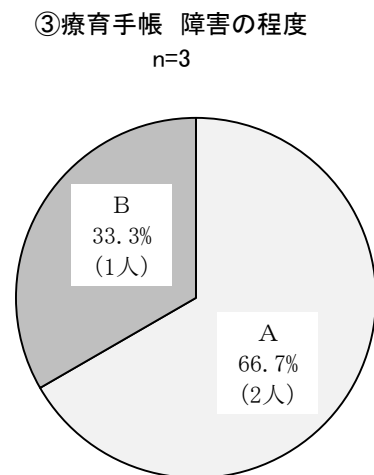
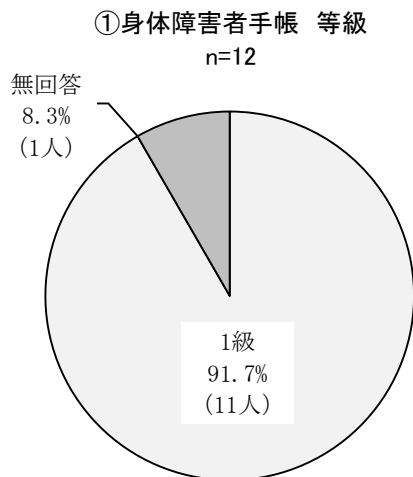
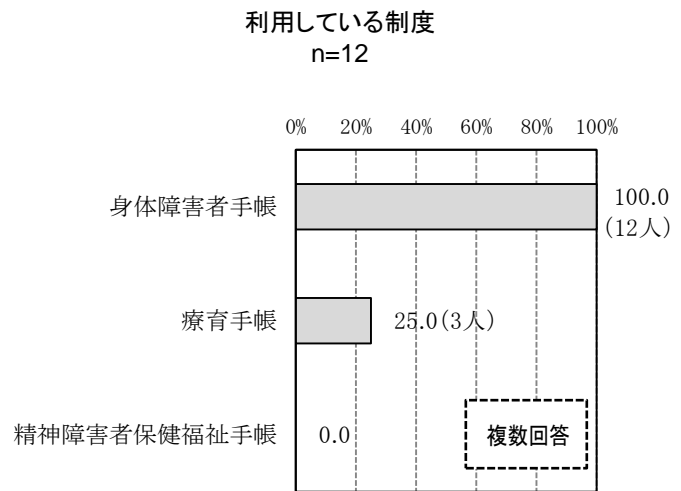
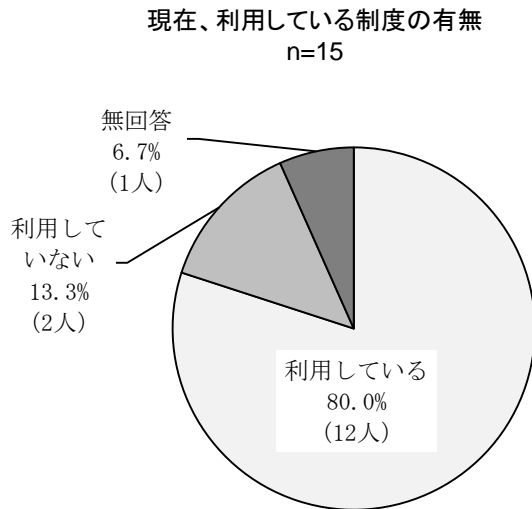
## (2) 居住地 (鳥取県内の圏域) (問5)

～東部が4割強～



(4) 現在、ご利用の制度 (問7)

～制度を利用しているが8割、「身体障害者手帳」は全員が利用～

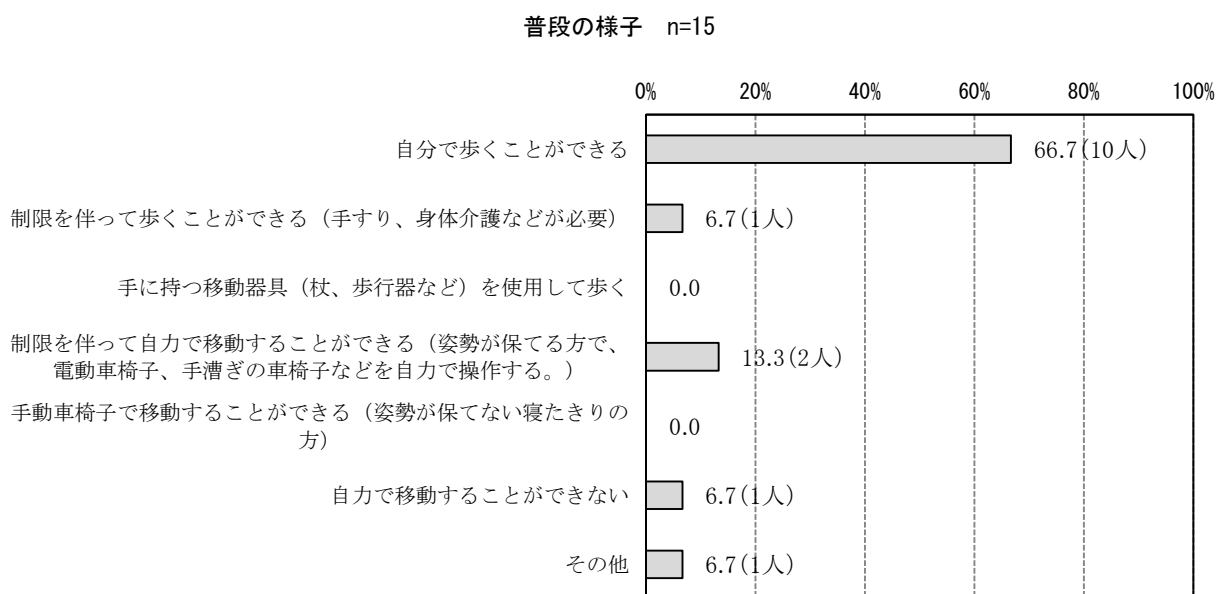


## 2.あなたの普段の様子、療養の状況、介助の有無などについて

<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の様子（移動、運動の程度）は、「自力で歩くことができなく介助等が必要」が1割弱となっている。また、「座位(座ったときの姿勢)が保持できない」は1割強となっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食事、衣服の着脱、入浴、排泄、移動」などの介助が必要な人が1割強となっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアを「必要とする」が3割弱あり、必要なケアの内容は「人口呼吸器」「体位変換」等が上位となっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中の主な生活の場は、「自宅」が6割強、「職場」が4割となっている。</li> </ul>

### (1) あなたの普段の様子（移動、運動の程度）（問8(1)）

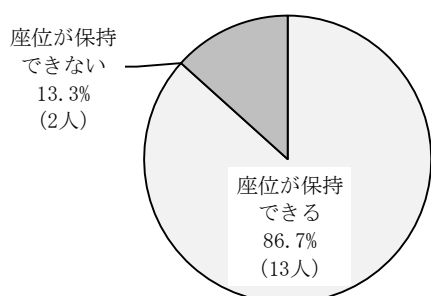
～介助等が必要で自分で歩くことができないが1割弱～



### (2) 座位（座ったときの姿勢）の状態（問8(2)）

～座位が保持できないが1割強～

座位（座ったときの姿勢）の状態  
n=15



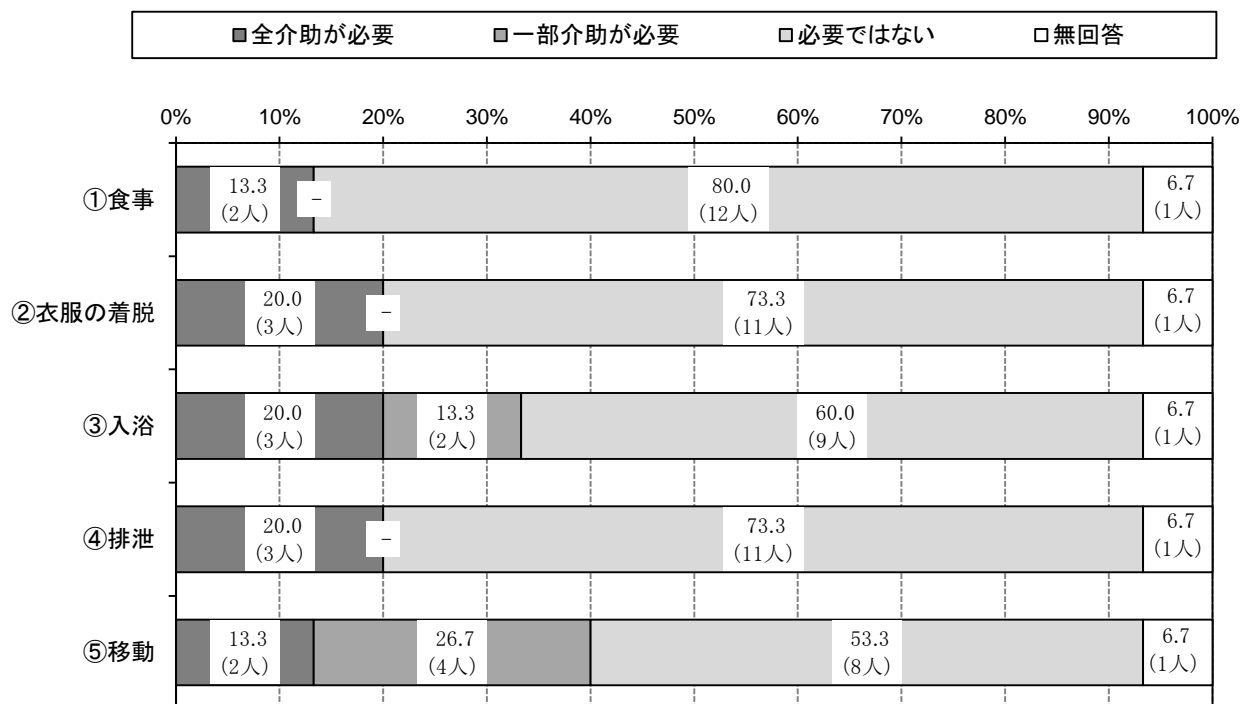
### (3) あなたのコミュニケーションの状態（問8(3)）

～回答者全員が日常生活でコミュニケーションがとれると答えている～

グラフ省略

(4) あなたは食事、衣服の着脱、入浴、排泄などについて介助が必要ですか。(問8(4))

～介助が必要が1割強あり、入浴の介助必要度は3割強～

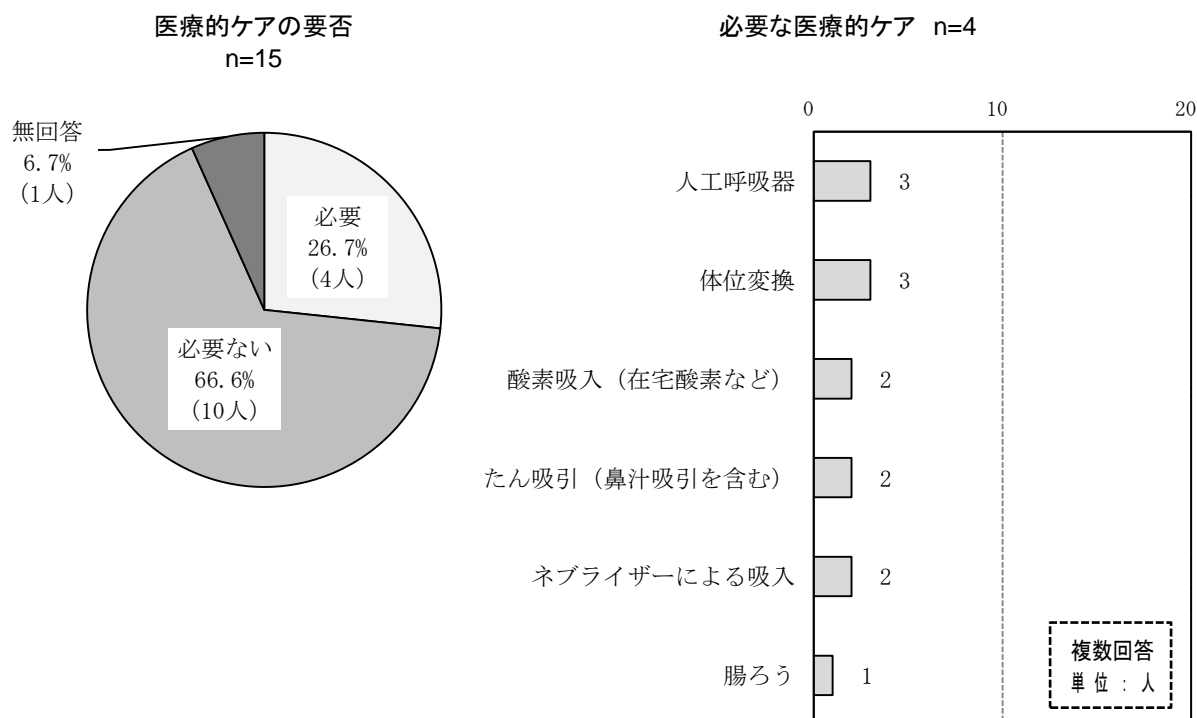


n=15

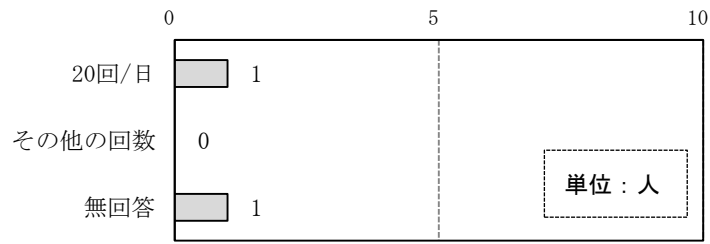
(5) 現在、あなたに必要な医療的ケア (問9)

～医療的ケアを必要としているが3割弱 (4人)、

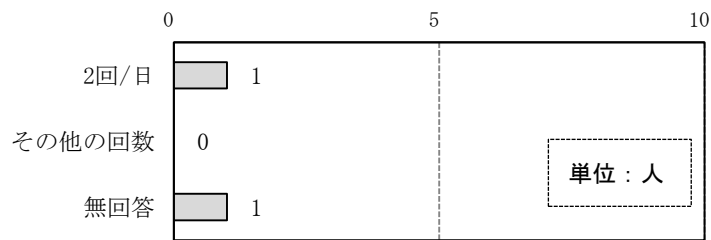
「人工呼吸器」「体位変換」が上位～



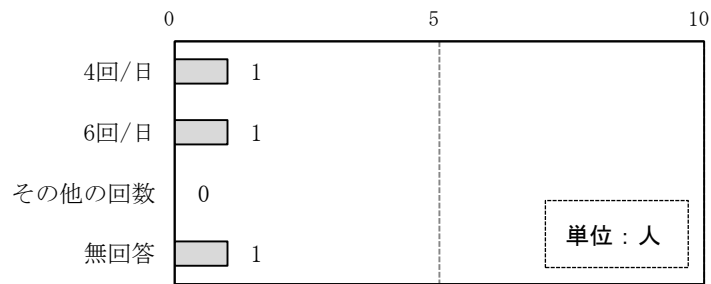
問9.⑤たん吸引(鼻汁吸引を含む) 実施回数  
n=2



問9.⑥ネブライザーによる吸入 実施回数  
n=2



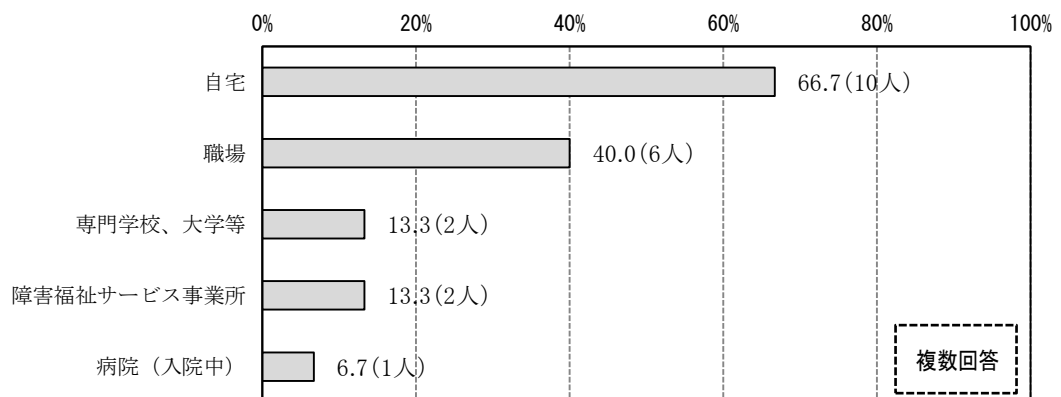
問9.⑭体位変換 実施回数  
n=3



(6) あなたの日中の主な生活の場 (問10)

～「自宅」が6割強、「職場」が4割～

日中の生活の場 n=15





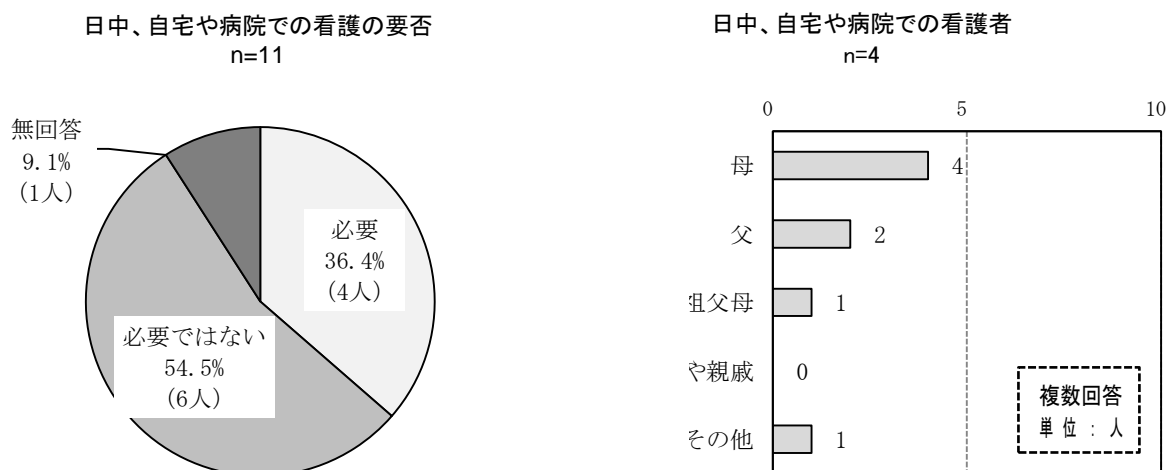
### 3.あなたの看護の状況について

- ・日中、自宅や病院での看護の要否について、「必要」は4割弱となっている。看護者は、回答者全員が「母」、次いで「父」が半数となっている。
- ・看護者について、看護の「代わりにお願いできる人がいない」が7割強となっている。
- ・障害福祉サービス等の利用について「利用することがある」「利用していない」が共に半数となっている。

(1) 問10で「自宅」「病院（入院中）」と回答した場合にお伺いします。

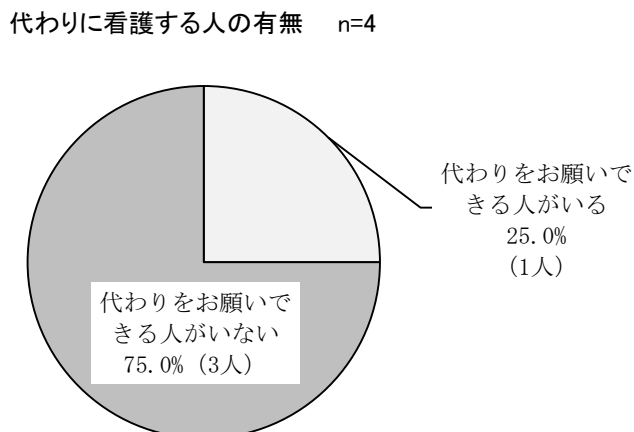
あなたは日中に自宅や病院で看護は必要ですか。また、看護を行っているのはどなたですか。あなたからみたその方の続柄で、あてはまるもの。（問11(1)・(2)）

～看護が必要が4割弱、看護者は回答者全員が「母」～



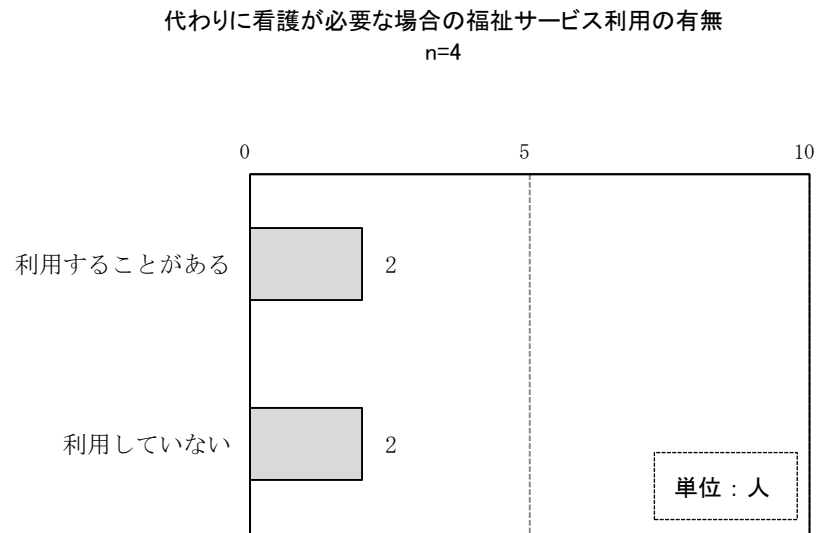
(2) (1)で回答した方の代わりに看護を行う方はいますか。（問11(3)）

～代わりにお願いできる人がいないが7割強（4人中3人）～



(3) (1) で回答した方の代わりに看護を行ってもらう必要がある場合、障害福祉サービス等を利用することがありますか。(問11(4))

～利用の有無 共に半数～



## 4. あなたの就労の状況について

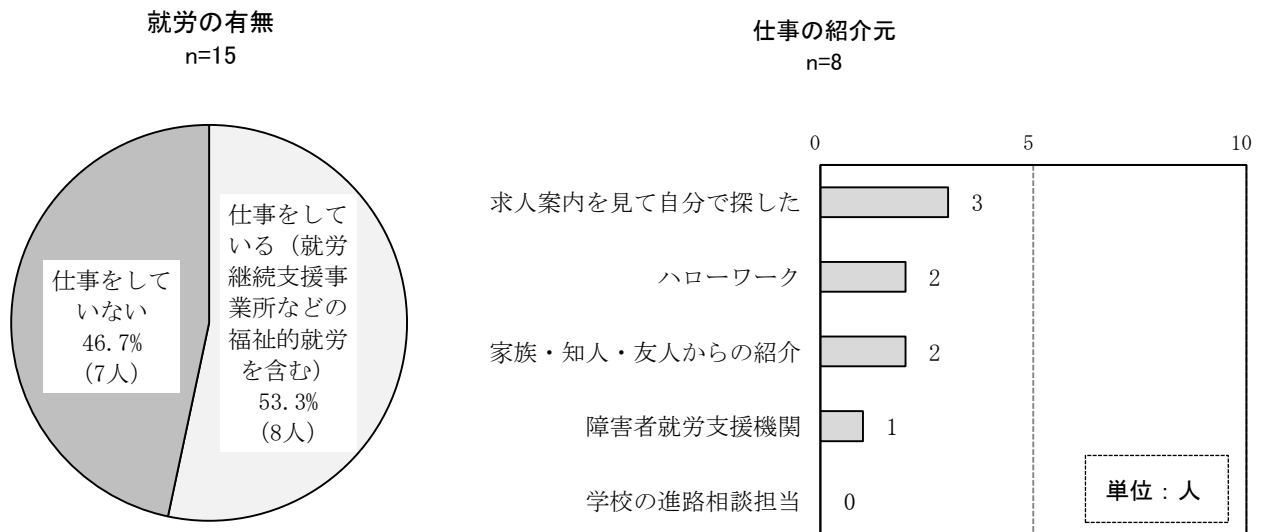
<p>・就労の有無について、現在、「仕事をしている」が半数以上となっている。その仕事の紹介元については「求人案内を見て自分で探した」が4割弱となっている。</p>
<p>・仕事の内容は、「民間企業での仕事（自営業を含む）」が半数となっている。</p>
<p>・仕事上で困っていることが「ある」が2割強、困りごとは、「障がいや慢性的な疾病について理解や協力してもらえない」と答えている。</p>
<p>・今後の就労意欲は、「今後も今の職場で仕事を続けたい」、「条件が合えば違う職場に変わりたい」が4割弱となっている。</p>
<p>・過去に仕事をしていなかったことが「ない」が4割強、現在、仕事をしていない理由として「障がいや慢性的な疾病のため」が8割強となっている。また、今後の就労希望については「一般企業の常勤従業員や公務員として働きたい」「パートやアルバイトとして働きたい」が3割弱となっている。</p>
<p>・仕事に対する支援は「必要」が9割強あり、必要な支援は「一人ひとりの障がい等に対する状況にあった仕事の紹介」「企業や雇用主の障がい等に対する理解の促進」が7割強となっている。</p>

(1) あなたは現在、仕事をしていますか。その仕事は、誰から紹介してもらいましたか。

(問12・問13)

～仕事をしている人が半数以上、

「求人案内を見て自分で探した」が4割弱（8人中3人）～

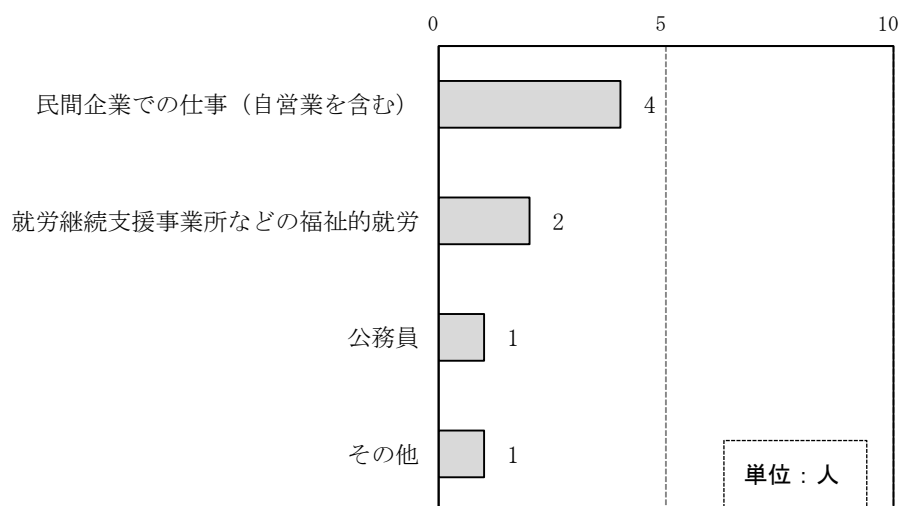


(2) (1) で「仕事をしている」と回答した方にお伺いします。

仕事の内容は何ですか。(問14)

～「民間企業での仕事(自営業を含む)」が半数～

仕事の内容 n=8



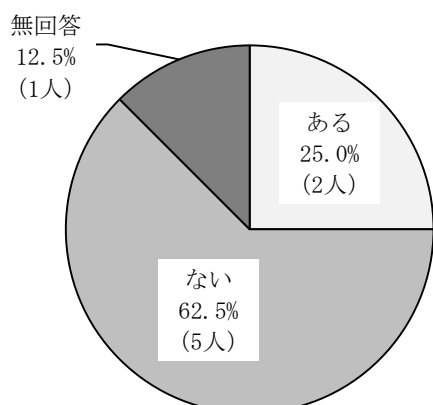
(3) (1) で「仕事をしている」と回答した方にお伺いします。

仕事上で困っていることはありますか。(問15)

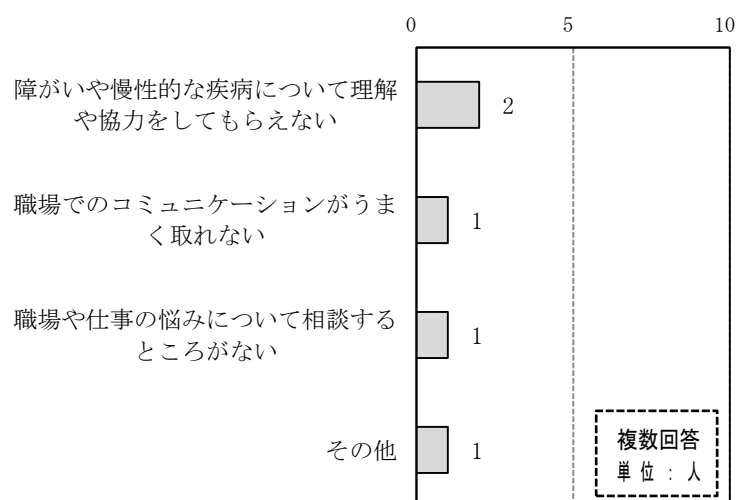
～困っていることがあるが2割強(8人中2人)、

「障がいや慢性的な疾病について理解や協力をしてもらえない」～

仕事上で困っていることの有無 n=8



仕事上での困りごと n=2

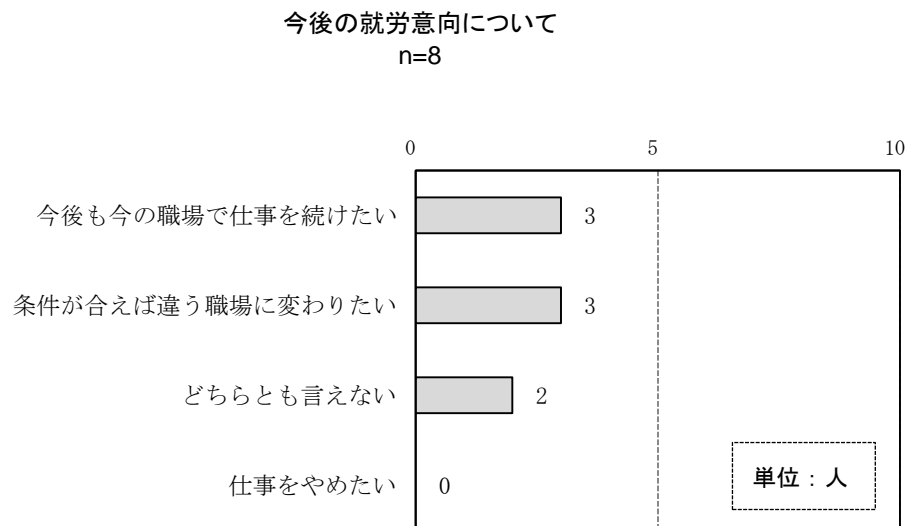


(4) (1) で「仕事をしている」と回答した方にお伺いします。

今後の就労意向について。(問16)

～「今後も今の職場で仕事を続けたい」

「条件が合えば違う職場に変わりたい」人が4割弱(8人中3人)～

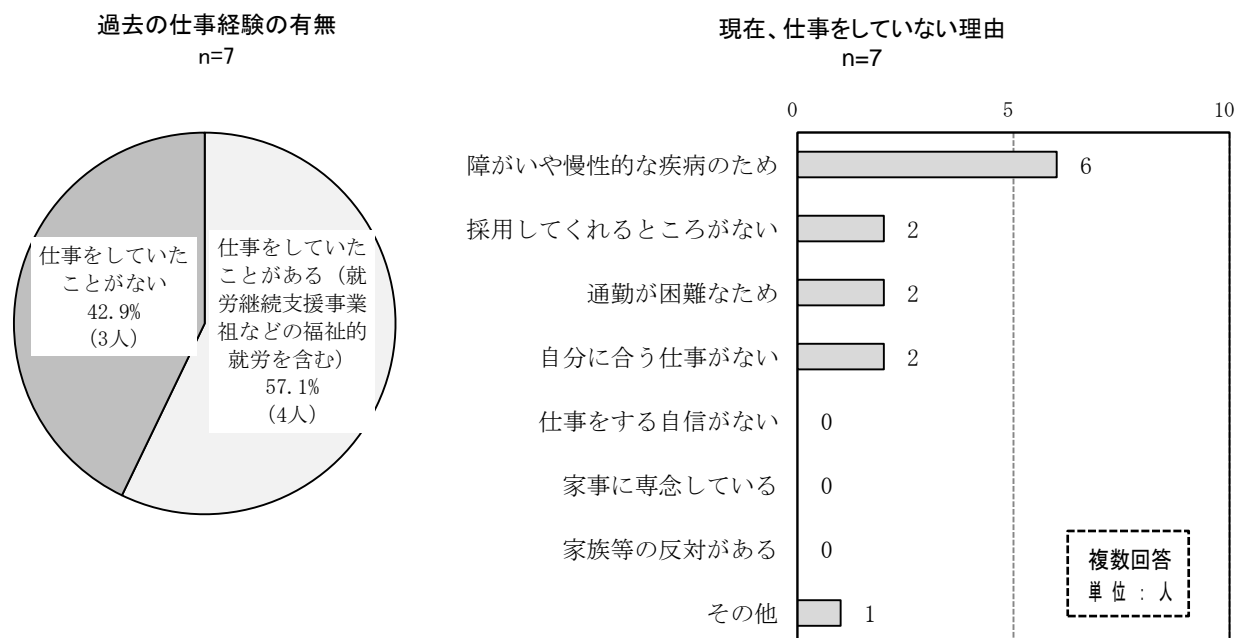


(5) (1) で「仕事をしていない」と回答した方にお伺いします。

あなたは過去に仕事をしていたことがありますか。現在、仕事をしていない理由は何ですか。(問17・問18)

～仕事をしていたことがないが4割強、

仕事をしていない理由は「障がいや慢性的な疾病のため」が8割強(7人中6人)～

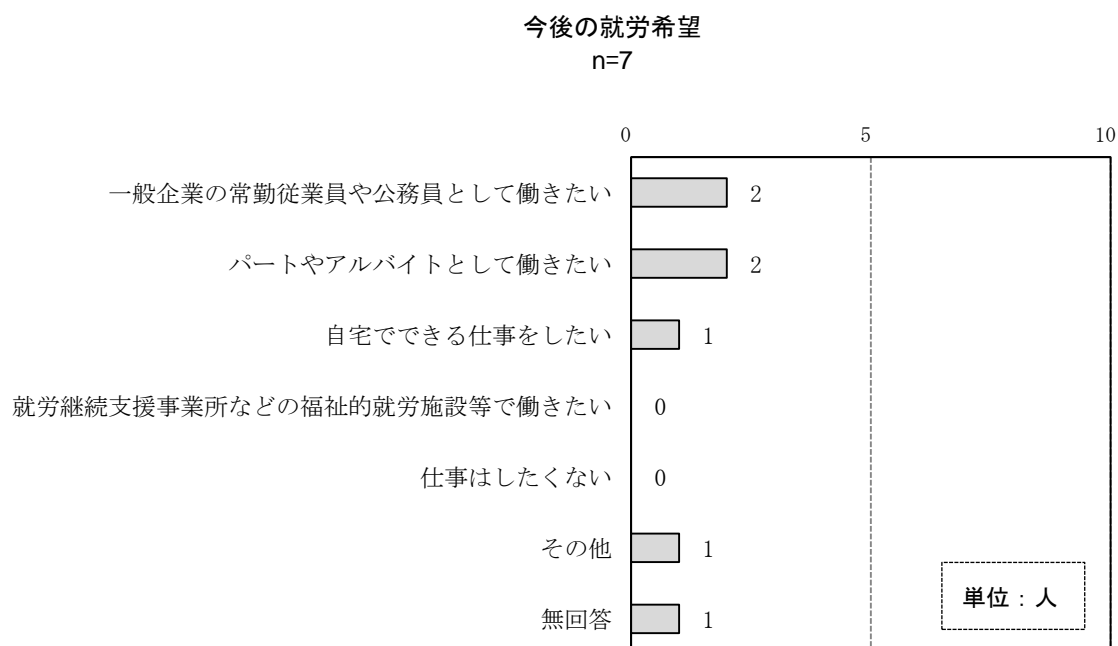


(6) (1) で「仕事をしていない」と回答した人にお伺いします。

今後の就労希望について。(問19)

～「一般企業の常勤従業員や公務員として働きたい」

「パートやアルバイトとして働きたい」が3割弱(7人中2人)～

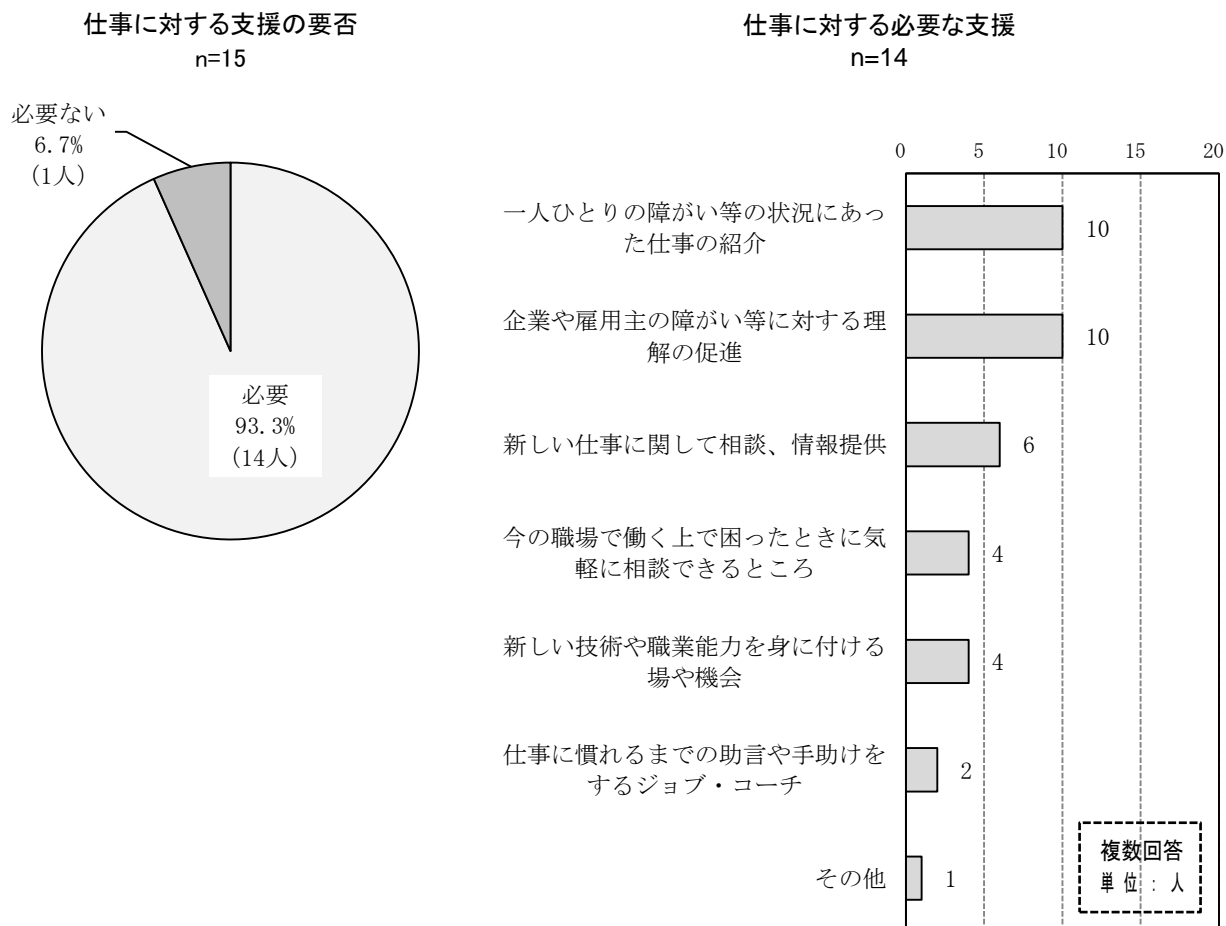


(7) 新しい仕事に就いたり、仕事を継続したりするためには、どのような支援が必要ですか。

(問20)

～支援が必要が9割強、「一人ひとりの障がい等の状況にあった仕事の紹介」

「企業や雇用主の障がい等に対する理解の促進」が7割強（14人中10人）～

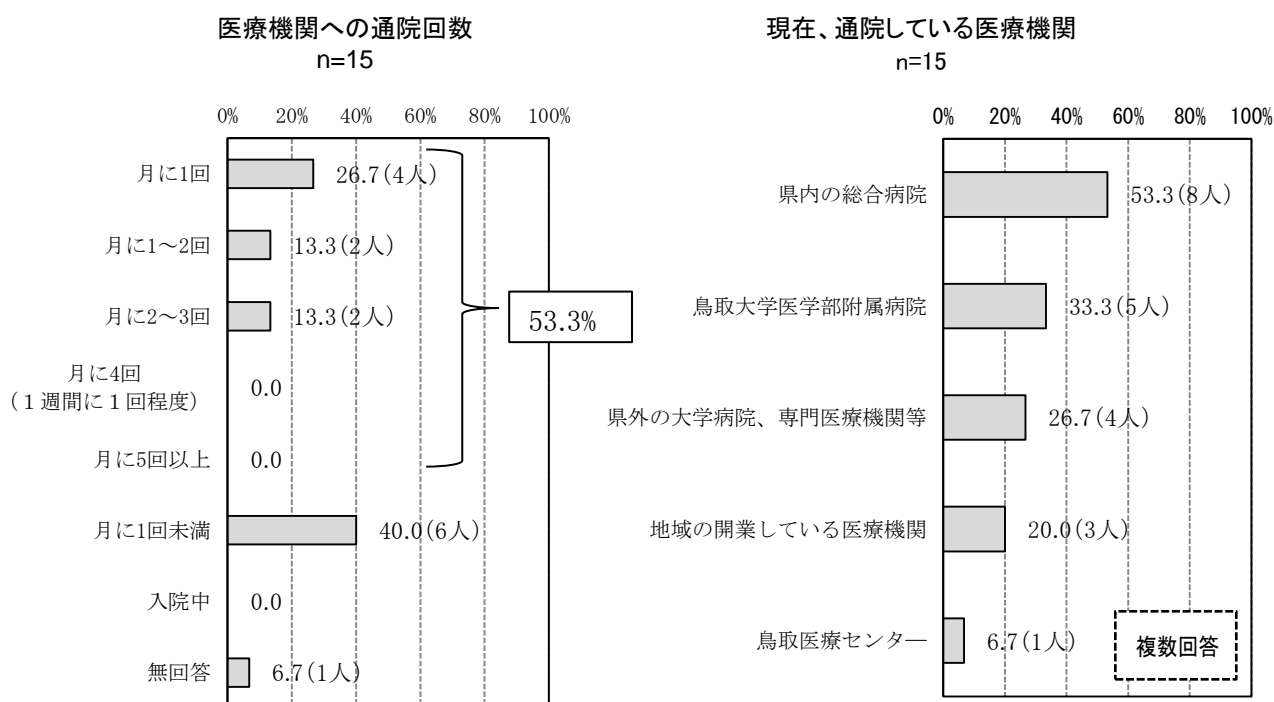


## 5. あなたの通院・入院について

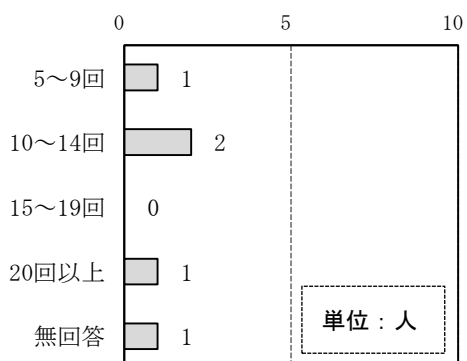
- ・医療機関への通院回数は、「月に1回強」が半数以上となっており、「県内の総合病院」に半数以上が通院している。
- ・通院の際、付き添いが「いる」が7割弱あり、付き添う人は9割が「母」と答えている。
- ・入院する際や病室への付き添いが「いる」が9割弱あり、付き添う人は8割強が「母」と答えている。

### (1) 医療機関には月に何回通院しますか。(問21・問22)

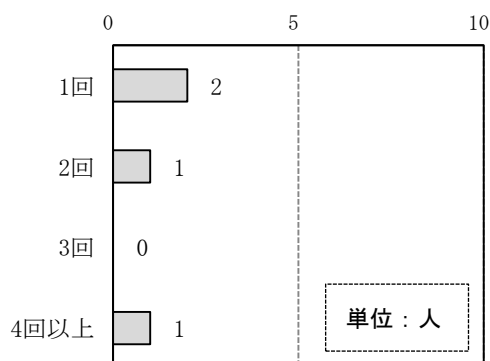
～通院回数は月に1回強が半数以上、「県内の総合病院」が半数以上～



問22.③鳥取大学医学部附属病院  
年間通院回数 n=5



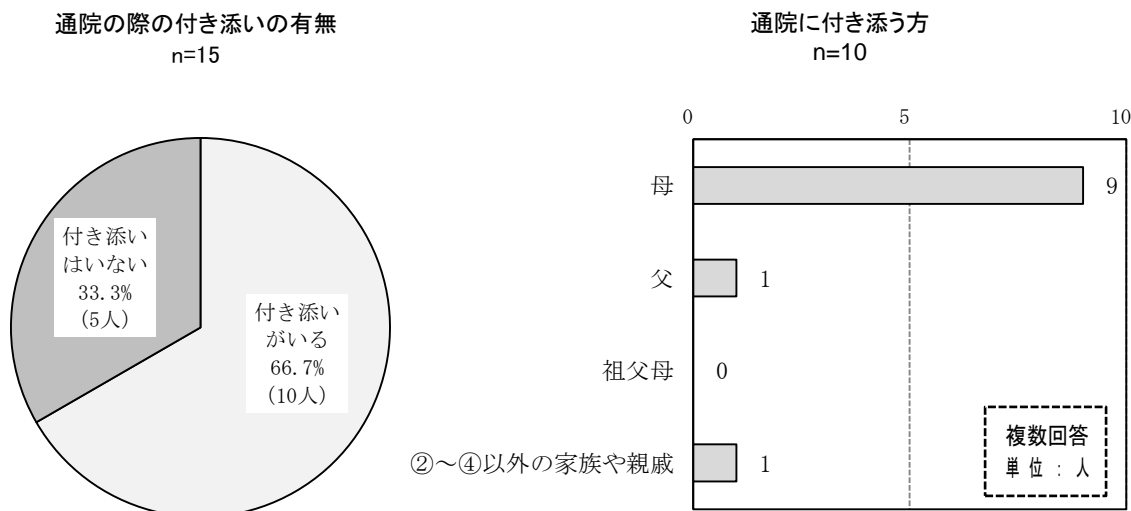
問22.⑤県外、専門機関等  
年間通院回数 n=4





(2) あなたの通院の際、付き添う方はいますか。また、主に病院へ付き添う方はどなたですか。  
(問23)

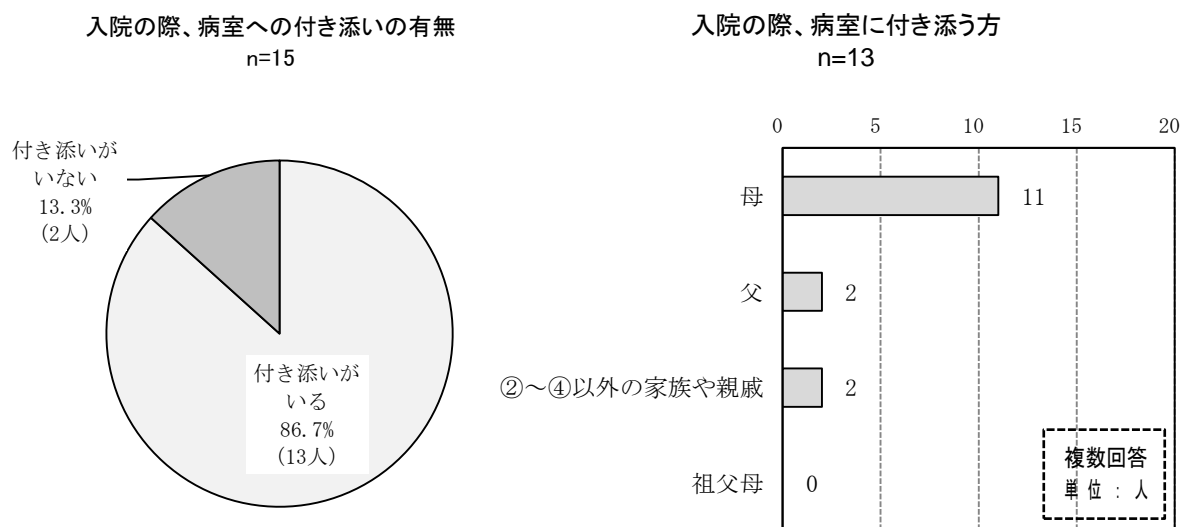
～付き添いがいるが7割弱、付き添う方は「母」が9割～



(3) あなたが入院する際、病室に付き添う（付き添った）方はいますか。また、主に病室に付き添う方はどなたですか。

入院の経験がない場合は、入院した場合に付き添う予定の方。(問24)

～付き添いがいるが9割弱、付き添う方が「母」が8割強～



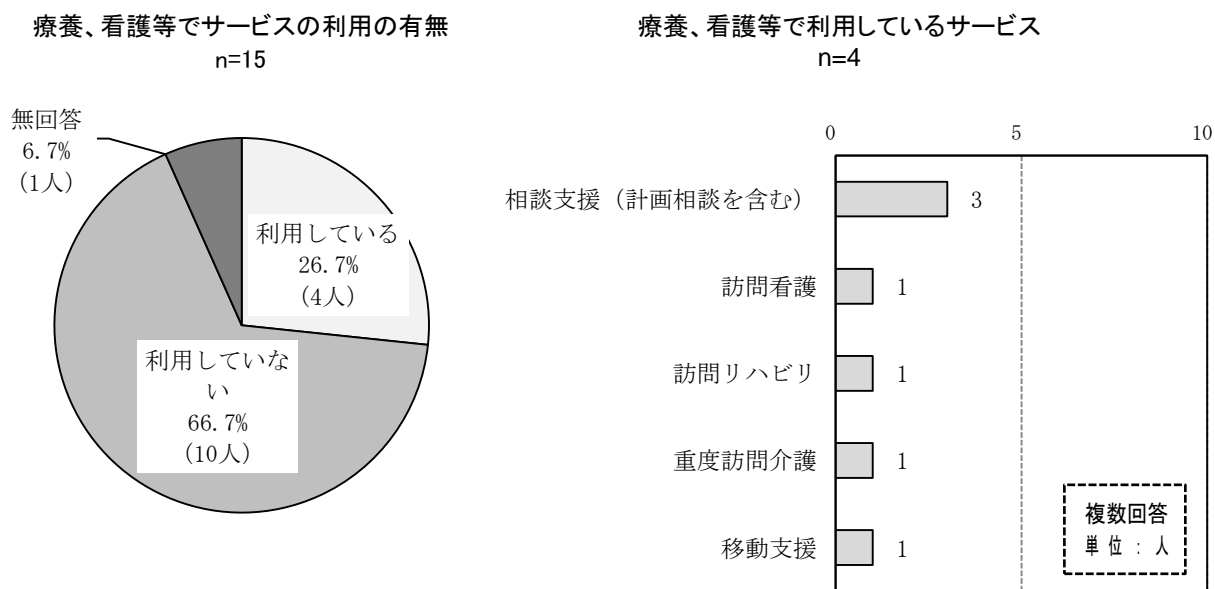
## 6.あなたのサービス・支援の利用状況について

- ・療養、看護等でサービスを「利用している」が3割強あり、「相談支援（計画相談を含む）」の利用が7割強となっている。
- ・療養、看護等のサービス利用で「困ることがある」が7割強あり、「どのサービスが利用できるかわからない」「サービス利用にかかる費用の負担が大きい」などの意見が多い。
- ・療養、看護等について相談したことが「ある」が9割強あり、「医療機関の医師・看護師」「家族・親族」に相談している。
- ・療養、看護等に関する相談機関（窓口）で困ること（困ったこと）が「ある」が4割強あり、「どこに相談してよいかわからない（わからなかった）」「継続的に関わってくれない（関わってくれる人がいない）」という意見が多い。

### (1) あなたの療養、看護等で利用しているサービスがありますか。(問25)

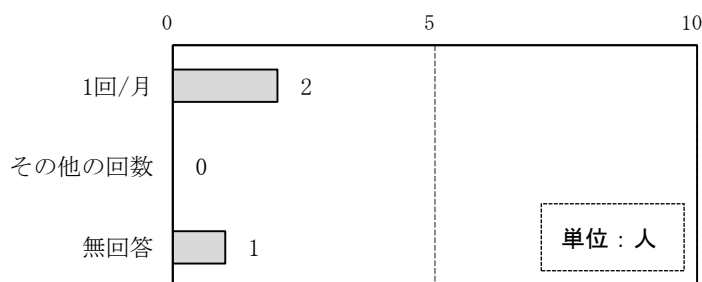
～サービスを利用しているが3割強、

「相談支援（計画相談を含む）」が7割強（4人中3人）～



### 問25.①相談支援（計画相談を含む） 利用回数

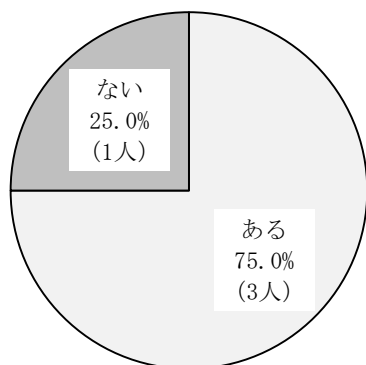
n=3



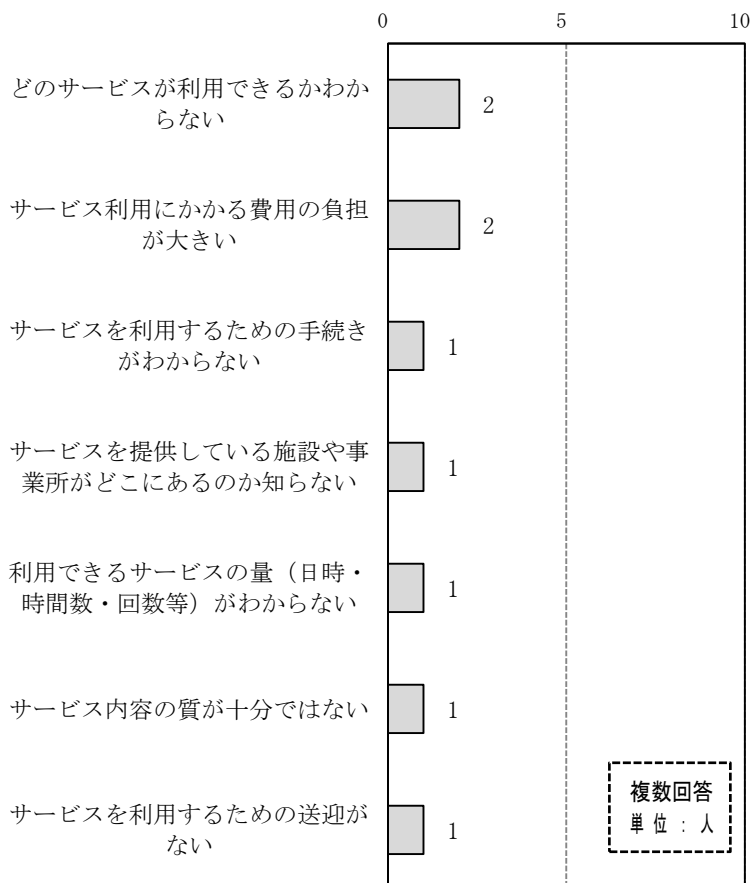
(2) あなたの療養、看護等でサービスを利用する場合、または利用したい場合に、困ることがありますか。(問2 6)

～療養、看護等のサービス利用で困ることがあるが7割強(4人中3人)、  
「どのサービスが利用できるかわからない」～

療養、看護等のサービスを利用する場合、  
利用したい場合に、困ることの有無  
n=4



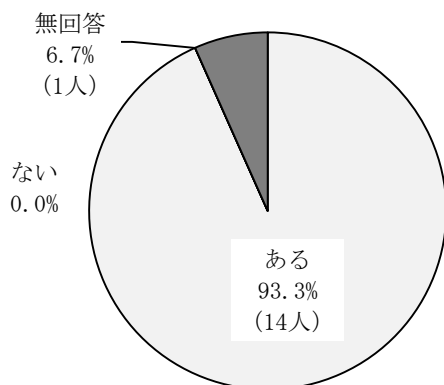
療養、看護等のサービス利用で困ること  
n=3



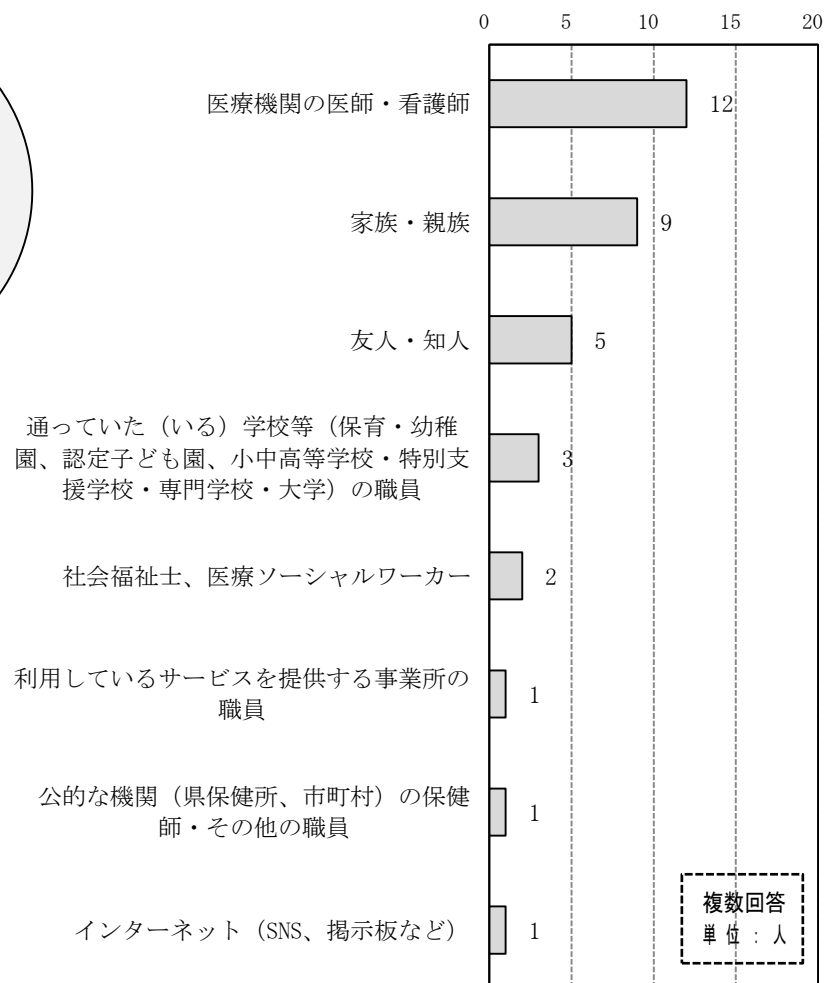
(3) あなたの療養、看護等について相談した(する)人や機関等で、あてはまるものをお答えください。(問28)

～療養、看護等について相談した(する)ことがあるが9割強、  
「医療機関の医師・看護師」、「家族・親族」に相談している～

療養、看護等について相談した(する)ことの  
有無 n=15



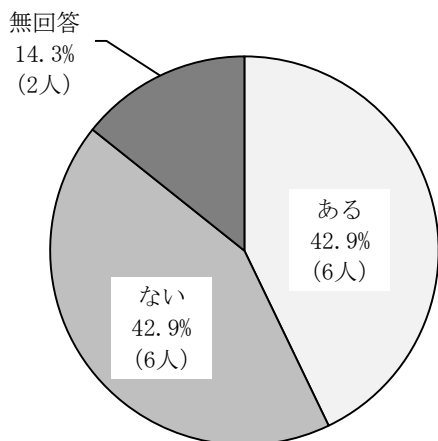
療養、看護等について相談した機関等  
n=14



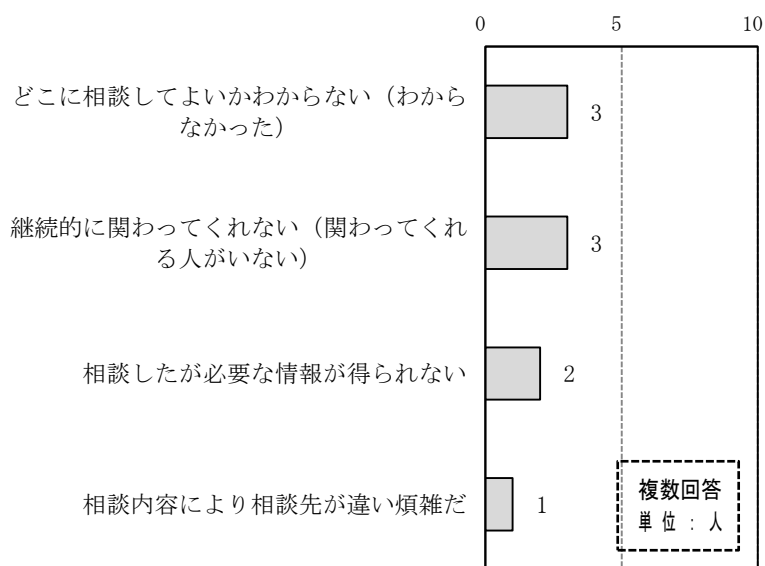
(4) あなたの療養、看護等に関する相談機関(窓口)について困ること(困ったこと)がありますか。(問29)

～療養、看護等の相談機関(窓口)で困ること(困ったこと)があるが4割強、  
「どこに相談してよいかわからない」、「継続的に関わってくれない」～

療養、看護等についての相談機関(窓口)  
で困ること(困ったこと)の有無  
n=14



療養、看護等に関する相談機関(窓口)で  
困ること(困ったこと)  
n=6



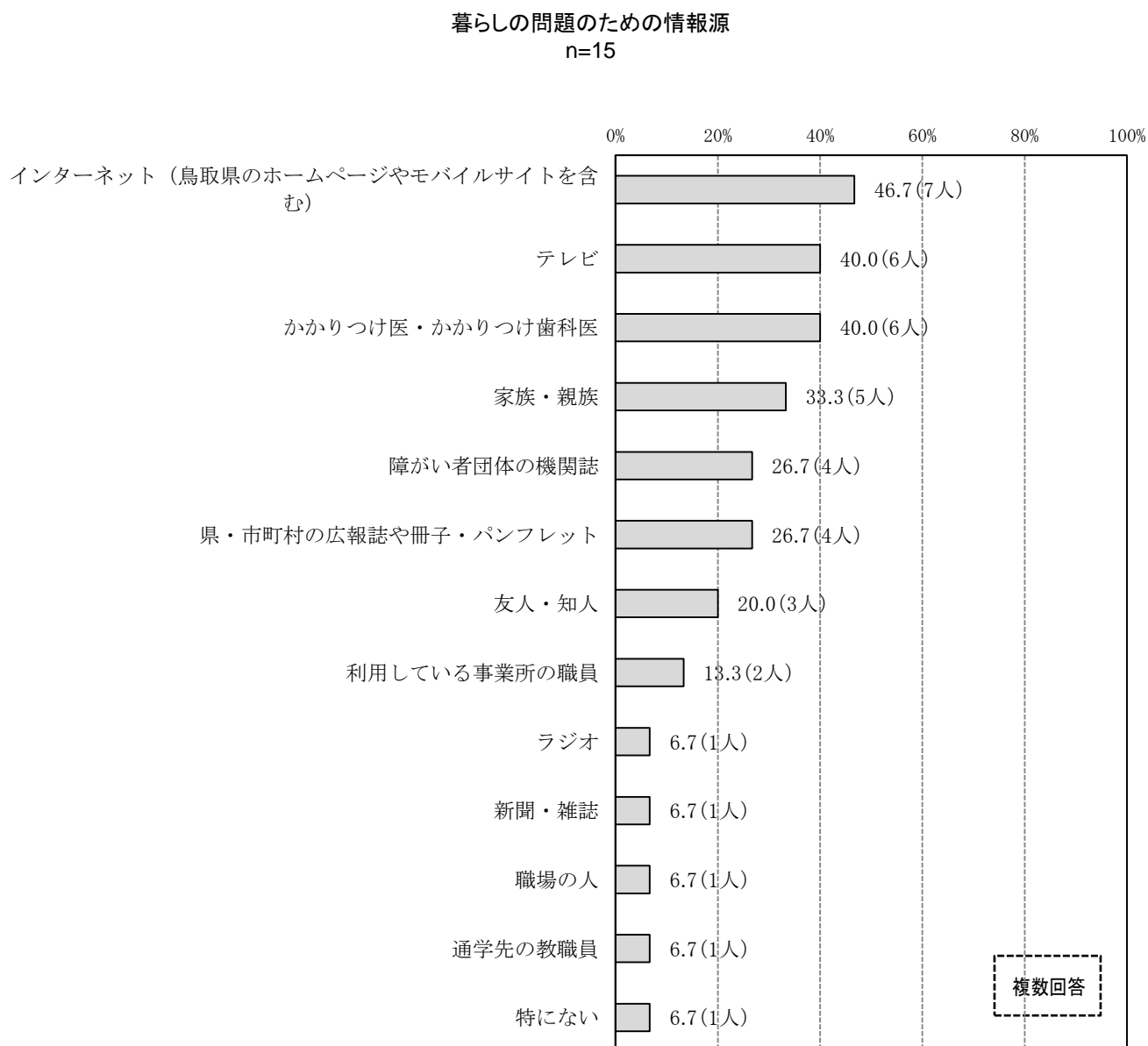
## 7.社会との関わりについて

- |  |
|--|
| <p>・暮らしの問題や保健・医療・福祉に関する情報の取得方法は「インターネット（鳥取県のホームページやモバイルサイトを含む）」「テレビ」「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」等が多い。</p> |
| <p>・現在生活の中で「困っていることがある」が7割弱あり、「生活費などの経済的なこと」「健康や体調管理のこと」が多い。</p>                               |
| <p>・悩みや問題の解決のために必要なことが「ある」が7割強あり、「専門的知識を持ち、的確なアドバイスができる人材」が半数以上となっている。</p>                     |
| <p>・障がい等を持っていることが原因で受けた対応は「ある」が6割あり、「職場、学校、地域の人に、嫌がらせを受けた」が4割強となっている。</p>                      |

(1) あなたは暮らしの問題や保健・医療・福祉に関する情報を、日頃どちらから得ていますか。

(問3 1)

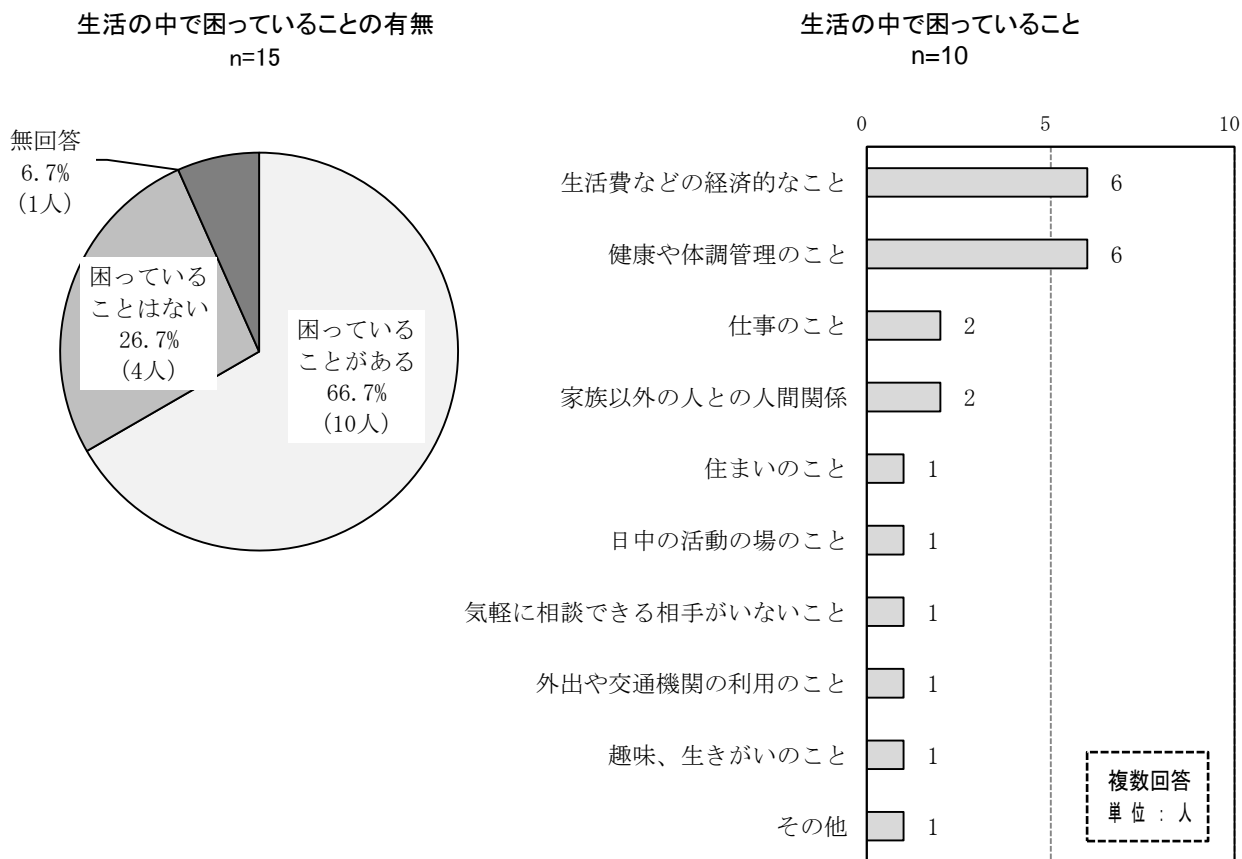
～暮らしの情報源は「インターネット」が約半数～



(2) 現在、あなたが生活の中で困っていることは何ですか。(問32)

～困っていることがあるが7割弱、

「生活費などの経済的なこと」「健康や体調管理のこと」が6割(10人中6人)～



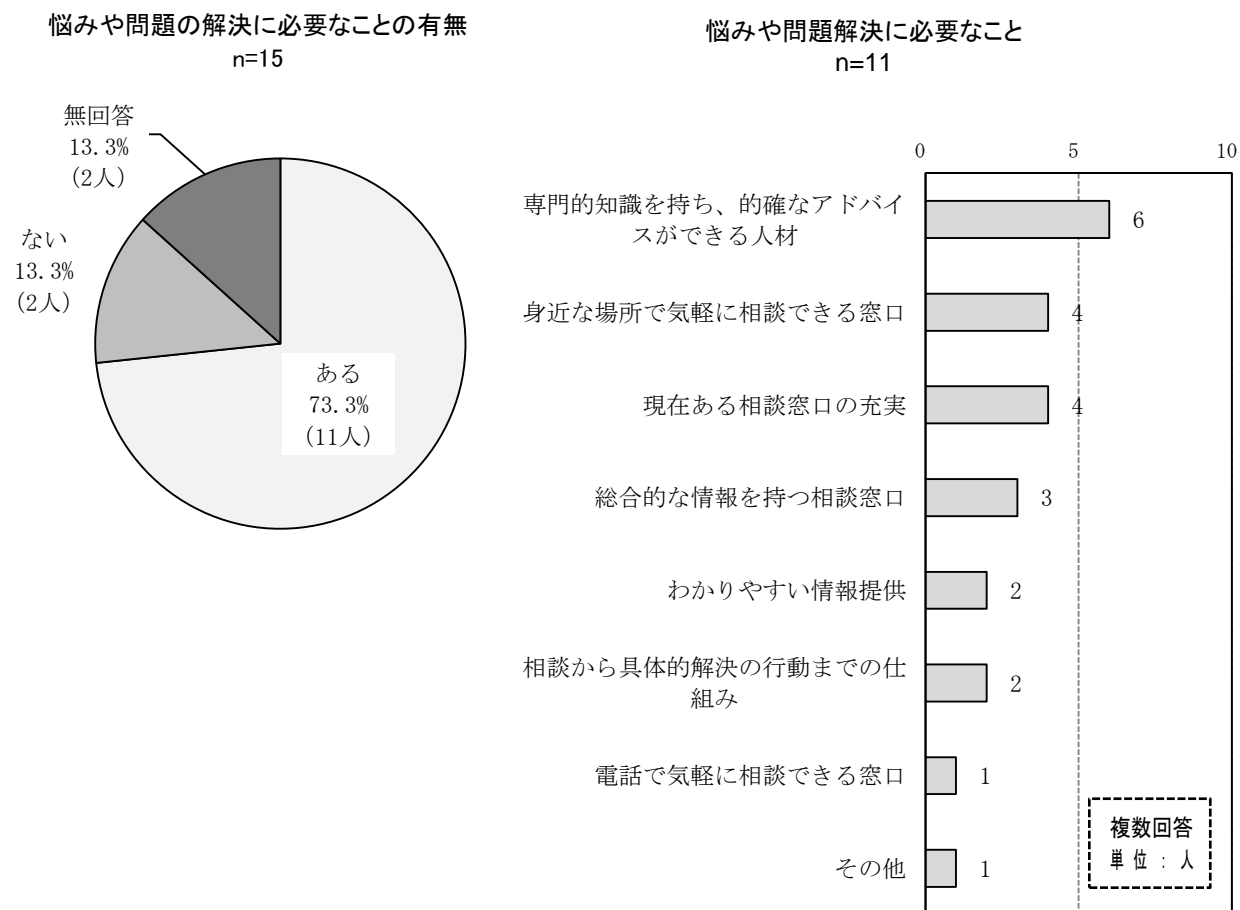


(3) あなたの抱えている悩みや問題を解決するために、特に必要なことは何だと思えますか。

(問33)

～悩みや問題の解決に必要なことがあるが7割強、

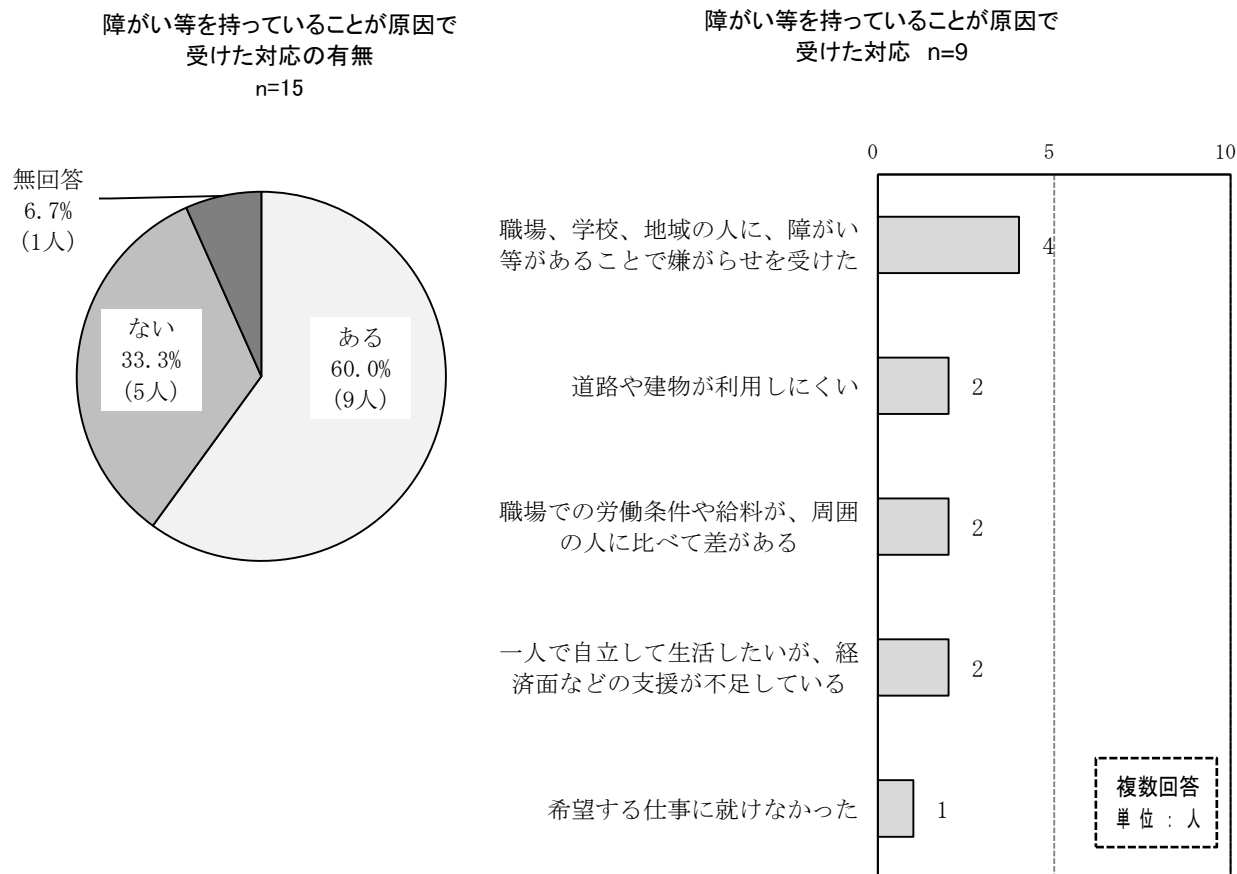
「専門的知識を持ち、的確なアドバイスができる人材」が半数以上(11人中6人)～



(4) あなたは日常生活の中で、障がい等を持っていることが原因で、受けた対応がありますか。

(問34)

～障がい等が原因で辛い対応を受けたことがあるが6割、  
「職場、学校、地域の人に、障がい等があることで嫌がらせを受けた」～

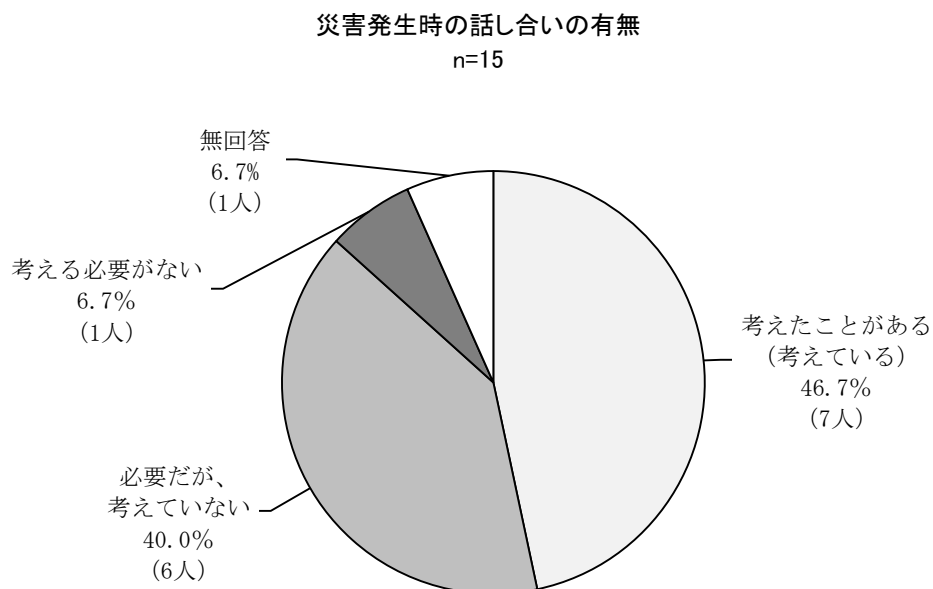


## 8. 災害発生時等の対応について

<p>・災害発生時に備えて、避難方法や避難場所について「考えたことがある（考えている）」が約半数となっている。</p>
<p>・避難等の際、移動、看護について協力を「必要」とするが4割あるが、「協力をしてもらいたいが適切な者（団体など）がない」と答えている人が半数となっている。</p>
<p>・行政や地域からの支援を半数以上が「必要」と答えており、「医療についての相談窓口があること」「医療機関の受け入れ体制があること」等を希望している。</p>
<p>・災害発生時や避難生活を行うため、個人情報、必要な支援を受けるために積極的に提供した方がよい」と約半数が答えている。</p>
<p>・災害発生時の備えは、約半数が「準備している」と答えている。具体的には、「家族や知人の連絡先の把握」「医薬品や症状等の情報の記録」「広域避難場所を知っている」等と答えている。</p>

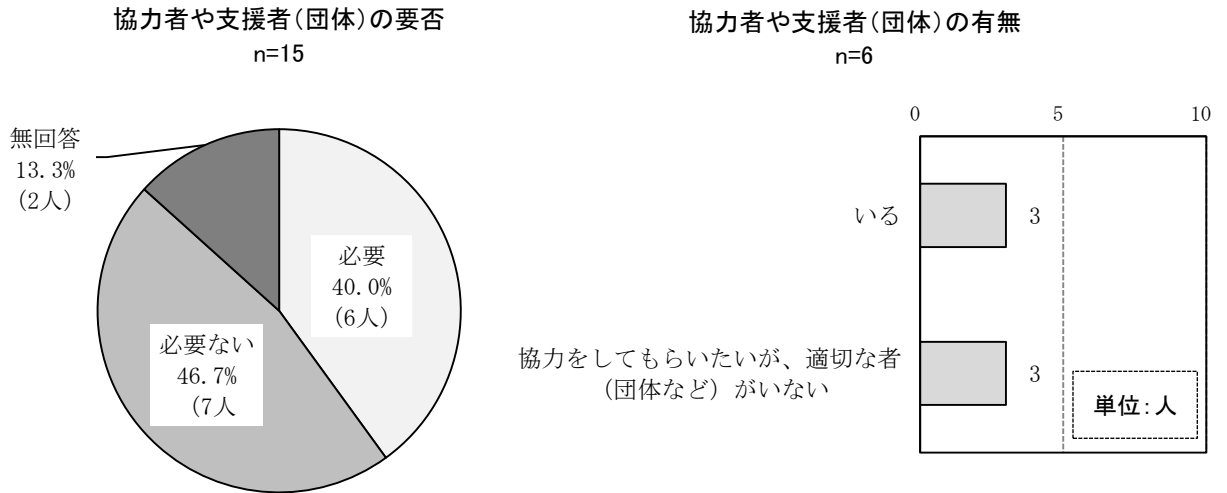
(1) 洪水、土砂災害及び地震などの災害発生時（以下「災害発生時」といいます。）自宅以外の場所へ避難しなければならない事態に備えて、避難方法や避難場所について、考えたことがありますか。（問35）

～考えたことがある（考えている）が約半数～



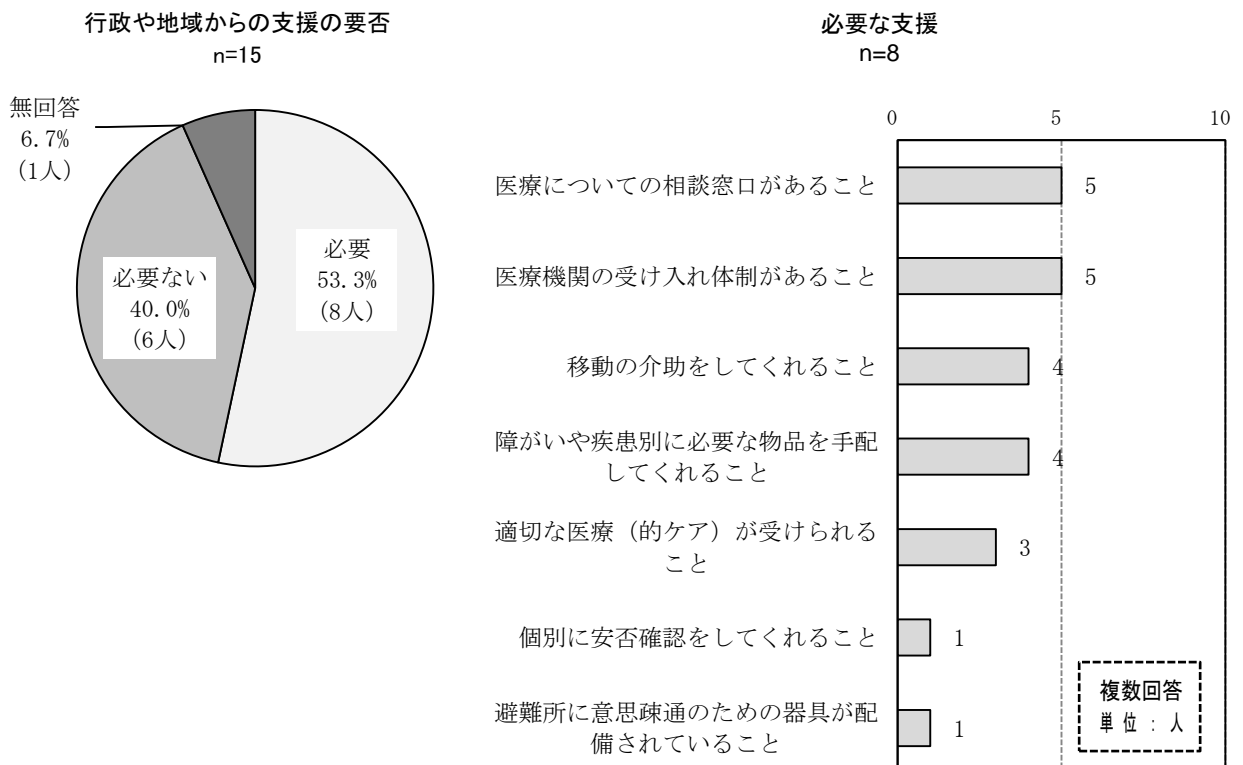
(2) あなたと一緒に避難したり、避難生活を行う場合に、あなたの移動、看護等について協力してくれる者や支援者(団体)はいますか。(問36)

～協力者や支援者(団体)を必要としているが4割、  
「協力をしてもらいたいが、適切な者(団体など)がない」人が半数～



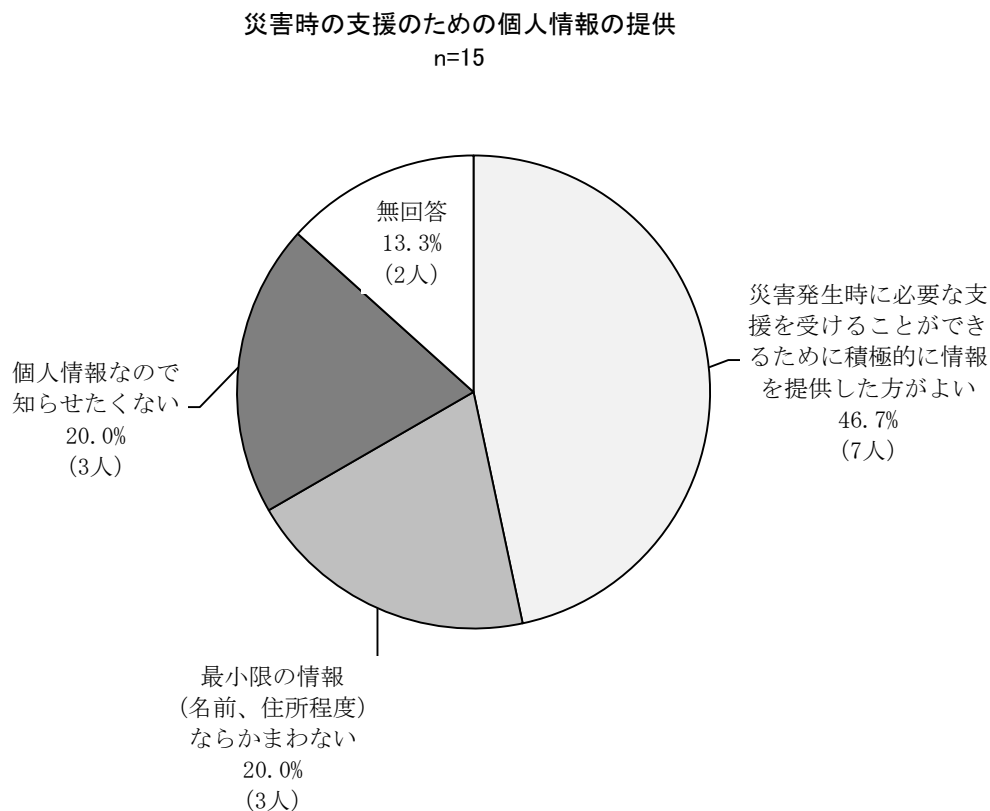
(3) 災害発生時や避難生活を行う場合に、行政や地域からどのような支援を必要としますか。(問37)

～行政や地域からの支援を必要としているが半数以上、  
「医療について相談窓口があること」、「医療機関の受け入れ体制があること」～



(4) あなたは災害発生時や避難生活を行う場合に、行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（名前、住所、世帯の状況、障がいの状況、緊急連絡先等）をお住まいの市町村に提供することについて、どう思いますか。（問38）

～「積極的に提供した方がよい」と回答した人が約半数～



(5) 災害発生時に備えて、障がい等の状況に応じて特別に準備をしていますか。

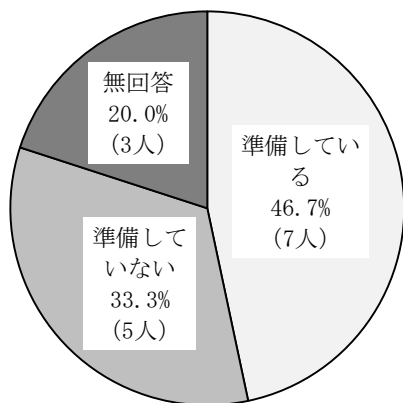
(問39)

～準備しているが約半数、

「災害発生時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」～

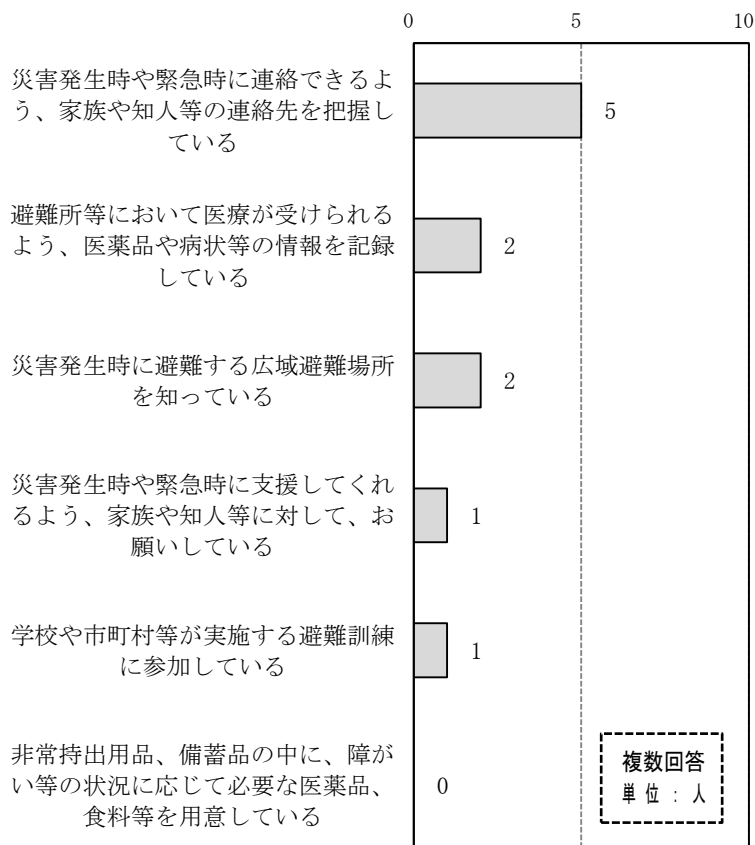
障がいに応じた準備の有無

n=15



障がい等に応じた準備

n=7

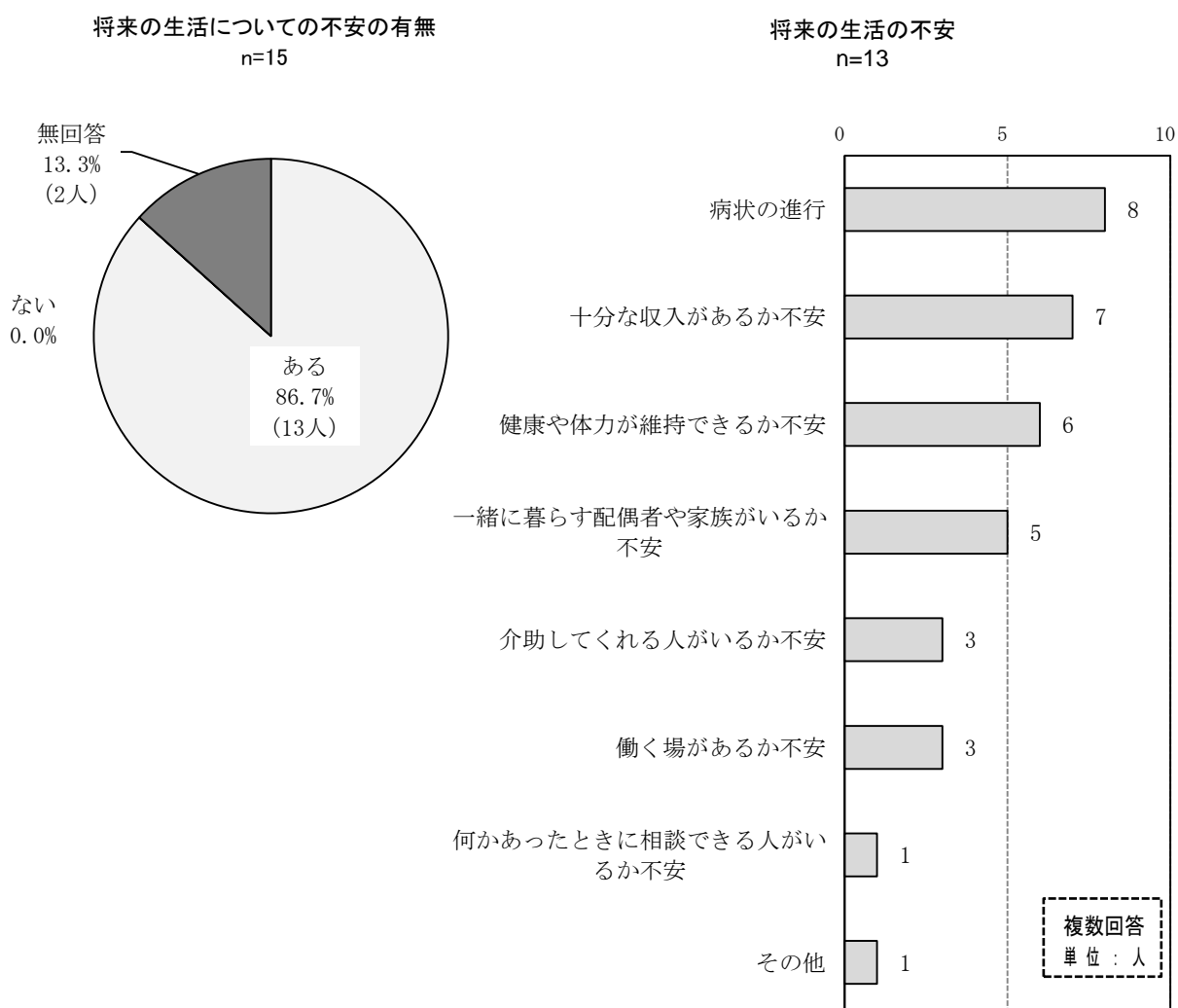


## 9. 将来に向けた生活について

- ・将来について不安が「ある」と9割弱が答えている。不安な内容は、「病状の進行」「健康や体力が維持できるか」等の病状に関する点、また「十分な収入があるか」「一緒に暮らす配偶者や家族がいるか」等の将来の生活に関する不安の意見が多い。
- ・障がい等がある人が地域の中で安心して生活していくためには、「必要なとき十分な介助や支援が受けられること」「障がい等がある人もない人も共に安心して暮らせる社会の実現」等が必要だと答えている。

### (1) 将来の生活について、特にどのようなことに不安を感じていますか。(問4 1)

～将来に不安があるが9割弱、「病状の進行」「十分な収入があるか」～



(2) 障がい等がある人が地域の中で安心して生活していくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(問4 2)

～「必要なときに十分な介助や支援が受けられること」～

安心して生活していくために必要なこと  
n=15

